

インフォメーション

申込み・問い合わせ：仙台市市民活動サポートセンター
TEL 022-212-3010 / FAX 022-268-4042 Mail sendai@sapo-sen.jp

マチノワラボ Vol.3

「発信！LOCAL GOOD SENDAI キックオフミーティングーオープンデータとまちづくりー」

日 時：10月26日(木) 18:30～21:00

内 容：東日本大震災、少子高齢化、貧困、ソーシャルビジネス、新たな地域経営。社会の課題は複雑化し、課題解決の担い手は多彩さを増しています。マチノワラボは、そうした現状の理解を深め、先進事例から学び、持続的な地域づくりを考える未来志向の場です。参加する人同士の対話を通して、仙台や東北そして社会の課題にアプローチします。今回のテーマは「LOCAL GOOD」。地域課題解決のプラットフォームとして、横浜をはじめ国内3地域で取り組まれています。いよいよはじまるLOCAL GOOD SENDAIへの期待とまちづくりへの展望について考えます。

会 場：仙台市市民活動サポートセンター 市民活動シアター

メインスピーカー：杉浦裕樹さん(NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ 代表理事)

ナビゲーター：鈴木祐司さん(公益財団法人地域創造基金さなぶり 専務理事)

定 員：50名

対 象：地域の課題に取り組む市民・企業・行政。セクターの壁を超えて課題解決やまちづくりに取り組みたい方など。

参加費：500円(1ドリンク付き)

主 催：仙台市市民活動サポートセンター、(特活) せんだい・みやぎNPOセンター

共 催：(公財)地域創造基金さなぶり、(特活)都市デザインワークス、(一社)パーソナルサポートセンター

申込み先：(特活) せんだい・みやぎNPOセンター

TEL 022-264-1281 / Mail labo@minmin.org



講座

はじめての市民活動を応援します 「はじめての助成金申請」

日 時：11月18日(土)

「はじめての助成金申請 助成金基礎編」 10:00～11:00

「はじめての助成金申請 見せ方アピール編」 11:10～12:10

内 容：市民活動を立ち上げ予定の方、助成金の申請を考えている方を対象に、活動資金についての基礎から、知っておきたい助成金の特性、申請書を書くコツを学ぶ講座を実施します。どちらか一方だけでも、両方でも受講可能です。

会 場：仙台市市民活動サポートセンター 研修室5

定 員：各15名(先着順)

対 象：これから活動を始めようと考えている方 新たに助成金申請を検討している方

資金調達の必要性が迫られている団体 助成金の獲得に苦労している方・団体 新規設立団体・NPO法人など

参加費：無料



つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。

ご相談ください

ボランティア活動をしたい／団体を立ち上げたい／組織運営の悩みを解決したい／他の団体や他のセクターと連携したい／自分のスキルを地域や社会に役立てたい…

今月の休館日 10月11日(水)、25日(水)

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00

日曜日・祝日 9:00-18:00

休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

地下鉄南北線「広瀬通駅」西5番出口すぐ／地下鉄東西線「青葉通一番町駅」北1番出口から徒歩6分

[HP] <http://www.sapo-sen.jp> [Blog] <http://blog.canpan.info/fukkou/> [Twitter] @sensapo

仙台市市民活動サポートセンターは、特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンターが仙台市の指定管理者として、管理運営を行っています。[指定管理期間2015年4月1日～2020年3月31日]

市民ライターや学生記者が、
仙台の市民活動団体やワクワクビトを取材しています！

▶市民ライター

http://blog.canpan.info/fukkou/category_23/1

▶情報ボランティア@仙台

<https://ja-jp.facebook.com/jyoho.volunteer.sendai>

▶「ぱれっと」バックナンバーはホームページからダウンロードできます。

▶ぱれっとに関するご意見をお寄せください。

[ぱれっと読者アンケート] サポセンホームページからアクセス
いただくか、携帯電話等で2次元バーコードを読み取ってご利用ください。



発行 仙台市市民活動サポートセンター
発行日 2017年10月1日
編集 特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
デザイン PEACE Inc.
編集人 太田貴 菅野祥子 松村翔子 鈴木美紀 宮崎真央 小野真璃子
発行部数 3000部
配布場所 市内公共施設や行政窓口、市内一部店舗、市内外の支援施設

はねれっと 10

仙台市市民活動サポートセンター通信 ぱれっと 2017 No.218

“ぱれっと”には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。

今月の
ワクワク
ビト

SEN. / 企画・デザイン

たかの あきこ

高野 明子 さん (29)

仙台の文化発信、
誰もが楽しめるまちへ

高野さんは、今春からウェブメディア、ワークショップ、イベントを通して、仙台のアートやデザイン、衣食住、街の景観などを発信する「SEN.」の活動をしています。ウェブには、仙台に暮らす人の視点で書かれたエッセイを掲載。ワークショップでは、エッセイの書き手と読み手がリアルに集い、街に点在する文化の芽を、人の縁で育てていく土壌を耕しています。着想の原点は 2 年前。仙台を離れていた高野さんが地元に戻って感じた疑問でした。「何でもあるのに、何もないように見えるのはなぜだろう」。ユニークなイベントが開かれながらも情報が散らばっていてわかりづらい。たくさん活動者がいる中で、地元でオリジナリティのある活動をする人の姿が見えづらいといった課題を感じました。

「仙台を誇れる人が増えれば、もっと街は賑やかになる」。文化と人を引き合わせることで、「らしさ」溢れる仙台に。高野さんは歩を進めます。

取材・文 加藤 里香(宮城学院女子大学4年)

特集

すべては正しい情報を

知ることから始まる

「仙台 HIV ネット」

SEN.

HP <http://sendaiculturesen.com/>

Mail sendaiculturesen@gmail.com

「SEN.」の名は、仙台の文化の拠点を「線」でつなぐという活動趣旨のほか、仙台の「仙」、センスの「セン」など、SEN.の取り組みを想起させる多様な言葉を掛けています。活動メンバーは現在8人。学生から主婦まで、それぞれが独自の視点で仙台の姿を発信しています。ライターをはじめ、一緒にプロジェクトを盛り上げる同志を絶賛募集中。詳しくはホームページをご覧ください。

すべては正しい情報を知ることから始まる「仙台HIVネット」

仙台市におけるHIV抗体検査の受検者の総数は減少傾向にあります。早くにHIV感染を知ることが出来れば、治療でエイズの発症を抑えることが出来ます。治療開始が遅れると、生活の質の低下や、生命に関わる場合もあります。HIV感染の早期発見を促進するため、市民団体と行政が続けるインターネットによる情報発信の取り組みを紹介します。

HIV / エイズって何？

HIVとは、「ヒト免疫不全ウイルス」のことで、白血球などに感染して免疫力を徐々に破壊し、エイズを引き起こします。

エイズとは、「後天性免疫不全症候群」のことで、HIVの感染により免疫の働きが低下することによって起こるいろいろな症状の集まりを意味します。

● どうやって感染するの？

1 性行為による感染

2 血液を介しての感染

3 母親から赤ちゃんへの母子感染

HIVの感染力は弱いため性行為以外の日常生活で感染することはほとんどありません。

● 感染を知るにはどうしたらいいの？

血液検査でわかります。検査は、全国の保健所で、無料・匿名で受けられます。仙台市では、各区保健所支所と国分町の検査会場の6か所で受けられます。

東北 HIV コミュニケーションズ

検査が必要な人に必要な情報を



おおた 太田ふとしさん

仙台市 健康福祉局保健所健康安全課

エイズや性感染症を少なくしたい 心配な人の相談にのりたい



現担当
どうどうふみか
百々文香さん



前担当
すがい 須貝えり奈さん

検査が必要な人たちに情報を届けたい

HIV / エイズをめぐる様々な情報を集めたウェブサイト「仙台HIVネット」は、HIV / エイズに関する電話相談を行っている市民団体、東北HIVコミュニケーションズ(以下 THC)と仙台市健康福祉局保健所健康安全課(以下仙台市保健所)が協働で開設しています。2008年をピークに減少傾向にあるHIV検査の受検者数を増やそうという取り組みです。THCの太田ふとしさんは「検査が必要な人に必要な情報が届き、受検を促進することが急務です」と言います。

サイトでは、仙台市内の各区保健所支所等で実施している無料・匿名のHIV検査の情報や、受検体験レポート、治療などの情報を掲載。検査を必要とする人が安心して検査へ行けるようにするための工夫を凝らしています。

MSM(男性と性的接触のある男性)が仙台市のHIV感染者とエイズ患者報告数の過半数を占めることから、MSMが利用するスマートフォンのアプリケーションに受検促進バナー広告を設置しました。また、まだHIV検査を受けたことのない若年者層向けにマンガ小冊子を使った情報

提供を行った結果、HIV検査の総受検者の中での初めて受検した人の割合が取り組み前に比べて増加に転じ、効果が見え始めています。

お互いを知ってそれぞれの強みを発揮

HIV感染者・エイズ患者は、正しい情報や正確な知識が不足しているために起こる偏見や差別にさらされてきました。THCは1993年に設立され、HIV / エイズによって、自らの生命や生き方に影響を受けた人々が共に生きる社会を作り出すことを目的に活動しています。仙台市保健所は、性感染症の検査や各種予防接種、相談対応など仙台市の感染症対策全般を担っています。エイズや性感染症の予防と蔓延防止のための情報提供を行い、正しい知識の普及啓発を推進しています。

協働事業の成果について、仙台市保健所の須貝えり奈さんは「THCには全国の民間団体から先進的な取り組みの事例やMSMの情報が集まるので、実情を踏まえた対策をともに考えることができます」と、行政にとって得ることが難しい情報を共有できることを心強く思っ



連絡先
 ・仙台 HIV ネット <http://sendai-hiv.net/>
 ・東北 HIV コミュニケーションズ 事務局 022-298-8532
 エイズ電話相談 022-766-8699 毎週土曜 18:00-21:00 (お盆・年末年始を除く)
 ・仙台市健康福祉局保健所健康安全課 022-214-8029

います。仙台市保健所は、THCと各区保健所支所の担当者との間に入り情報の共有を行いました。

太田さんは「THCが困っている事、市が困っている事をそれぞれ知ったこと、お互いに素直に意見を受け入れられる土壌ができた事がひとつの成果かもしれません」と振り返ります。

正しい情報をもっと届けたい

仙台市保健所の百々文香さんは「HIV / エイズと感染経路がほぼ同じである性感染症対策全体についての情報を共有し対策をともに考えたい」と取り組みの発展を語ります。太田さんは「今後も試行錯誤を繰り返しながら、検査が必要な方々の掘り起こしに努めたい」と話します。「仙台HIVネット」は新たな対象者に情報をつなげるために発信を続けます。

(取材・文 佐藤健太郎)

若者と政治のかけ橋
 市民ライター 齊藤利直

NPO法人ドットジェイビーは、1998年から若年投票率向上を理念に全国で様々な啓発事業をしています。運営を担うのは大学生。東北では2006年から始動し、宮城、福島、山形に支部があります。宮城支部では宮城、岩手の大学生46人が活動しています。力を入れるのは、毎年春と夏に行う議員インターンシップ事業。議員事務所に大学生を派遣し、現場で議員と行動を共にすることで、政治への関心を高めることを狙います。

インターンシップには毎回100人以上の学生が参加。政治家を志す学生が多いと思いきや、そんな学生は全体のわずか5%。「議員が何をしているのか分らないから、政治になんのイメージも持っていない」というのが正直なところ。動機も多くは、就職活動や社会人としてのマナーを身につけること。宮城支部代表の森なつみさんも「自分自身を成長させたい」と参加した一人。政治に関心はありませんでしたが、議会傍聴などを通じて政治の仕組みや目の前の社会問題について知り世界が広がりました。今では若者の投票率の低さを「やばい」と感じ奮闘する毎日です。



▲「高校生のインターンシップ参加を宮城で定着させたい」と意気込むメンバー

若者に向けられた課題を若者自身が解決していく姿に感銘を受けました。ドットジェイビーは、若者と政治をつなぐかけ橋。「若者の政治離れ」なんて言われなくなる日も近いかもしれません。

■連絡先
 NPO法人ドットジェイビー
 TEL 0120-098-214
 FAX 03-5213-4659
 Mail miyagi@dot-jp.or.jp(宮城支部)

お役立ち本 市民のマネジメント 市民の仕事術Ⅱ

著者:加藤 哲夫 発行:一般社団法人メディアデザイン

ボランティア活動や市民活動には、会社や自治体と同じように「経営する」という視点が有効です。NPOの先駆者である著者がNPOのマネジメントについて71本のコラムで伝えます。他セクターとの契約、法人化や運営方法を考えるなどの組織的な対応、長期的な課題に対する社会的な取り組みを大きく広げなければならないときの資金調達や事務局体制の整備など「市民の仕事」のヒントが得られます。



お役立ち本 障害について学ぼう！スポーツを体験しよう！ 障害者スポーツボランティアネットワーク研修会

障害者スポーツのボランティア活動に興味がある方を対象に、障害理解と障害者スポーツに関する知識を習得するための「ボランティアネットワーク」研修会を開催。初めての方もぜひご参加ください。

日時:11月3日(金・祝)9:20~16:30
 場所:宮城野区中央市民センター2階会議室・体育館
 参加費:無料 申込み〆切:10月27日(金)
 問い合わせ:仙台市障害者スポーツ協会
 TEL 022-236-8690 FAX 022-236-8691



ここチェック アトピー性皮膚炎などの患者が集い 悩みや不安を語り合える場

現在、アトピー性皮膚炎を治療する有効な方法はないと言われています。皮膚炎患者サークル CalanColon(カラニコロン)は、アトピーやステロイド皮膚症などに悩む人たちが集まり、不安を話したり、相談しあったりできる場です。2016年7月に設立。さまざまな立場、年代の人が集い問題の普及や勉強会も開催しています。興味のある方はどなたでも参加可能。

Mail calancolon.tohoku@gmail.com
 問い合わせ 080-1665-6216(木村)
 ブログ <http://calancolontohoku.blog.fc2.com/>

